

# 海舟だより

第4号

## ～今年も勝海舟没後120年～

勝海舟が眠る大田区・洗足池の地に、日本初の勝海舟記念館が2019年夏オープン！開館に先駆け、郷土博物館で「幕末・明治における勝海舟と大田区」の展示が行われます。学芸員による展示解説も行う予定です。お見逃しなく！詳細は裏面へ。



### コラム1

「洗足軒」へのつながり  
海舟は交渉のため池上本門寺に向かう途中、洗足池付近で休息を取ったといわれています。  
そのときに、洗足池周辺の風景を気に入り、明治時代に別荘「洗足軒」を構えました。

## 勝海舟と西郷隆盛 ～江戸無血開城に至る道～

### 第三話 そして、江戸から明治へ

慶応4年(1868)3月14日に薩摩藩蔵屋敷での会談で江戸総攻撃が回避された後、開城直前の4月9・10日にも池上本門寺で武器・軍艦引き渡し等の交渉が行われています。  
旧幕府方は軍艦全部と武器・兵隊の引き渡しを受け容れ、11日に江戸城の引き渡しが行われました。この時、旧幕府方海・陸両軍の一部が脱走するなどの騒動が起りましたが、西郷が新政府陣営の中で、反対を受けながらも寛大な処置を行ったことで、戦闘状態は回避されました。  
後年、海舟は西郷を「天下の大事を負担するものは、果して西郷ではあるまいかと、またひそかに恐れられたよ」と評価し、江戸開城談判についても「官軍に西郷が居なければ、談はととても纏まらなかった」と述べています。  
両者の信頼関係は、困難な政治的・軍事的課題を克服し、明治の世へと時代を大きく動かす原動力となりました。

大田区立勝海舟記念館では、江戸無血開城に関する資料の展示も予定しております。



### コラム2

#### 池上本門寺で西郷と勝は会っていた？

本門寺会談で西郷と勝が接触した明証は確認されませんが、会う予定であったことは当時の資料から確認されます。また、池上本門寺の塔頭理境院は西郷の宿所に充てられたとの所伝があり、西郷が池上にいた可能性は高いと考えられます。

### ふるさと納税

日本初の勝海舟記念館にあなたのお名前を残しませんか  
この度、より魅力的な記念館にするため全国の皆さまからお力添えをいただきたく、勝海舟基金を設置しました。  
勝海舟の想いを後世に残し、永く愛される記念館にしていきたいと思います。  
皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

- 勝海舟基金の目的 勝海舟に関する資料の購入や修復等に活用させていただきます。
- 目標金額 1億円
- 寄附お申込みの方法

インターネットによるクレジット決済・郵便局の払込取扱票等  
詳しくは大田区ホームページをご覧ください。

#### 返礼品

寄附金	特典内容
3千円以上	・勝海舟記念館ご招待券
1万円以上	・年間パスポート ・記念品(非売品)
10万円以上	・寄附者名を銘板に掲載 ・年間パスポート ・記念品(非売品)





## イベント情報

### 記念館の開館に先駆け、郷土博物館で 「幕末・明治における勝海舟と大田区」の展示を開催!

#### —ロビー展「勝海舟と大田区の つながりを探ろう!」—

2019年3月23日(土)～2019年5月31日(金)  
大田区立郷土博物館 1階ロビー

勝海舟記念館の紹介から始め、海舟の経歴や、若い頃から大田区との関わりがあったことを実物資料より示しながら、海舟とのつながりを探ります。

#### ☆見どころ

展示する資料には、大田区内の地名が所々出てきますので、楽しんで探してみてください!

#### —常設展 「海舟が眠る洗足池」—

2019年3月23日(土)～2019年6月6日(木)  
大田区立郷土博物館 3階展示室

勝海舟が眠る洗足池周辺にある海舟関連史跡の歴史を紹介します。

#### ☆見どころ

勝海舟の功績や人柄を、後世に伝えようとした人々の想いを感じてください!

#### イベント1

学芸員による展示解説  
2019年4月27日(土)14時から  
大田区立郷土博物館  
1階ロビー集合(申込み不要)

#### イベント2

学芸員による展示解説  
2019年5月11日(土)14時から  
大田区立郷土博物館  
1階ロビー集合(申込み不要)

### 海舟没後120年 —資料紹介—



#### 墓石図案(勝海舟自筆)

海舟が生前に描いた、自分の墓石の絵図です。

この資料に関連して、興味深い話が伝わっています。海舟が61歳になった明治16年(1883)のある日。来客を迎えた海舟が「おれは今年還暦だから、墓を作り、塔を建ててもよかろう」と言い、部屋にあった紙を手にとって五輪塔の形をした墓石の絵を描いたというものです。また、海舟没後、洗足軒の床の間にも墓石の絵が飾られていたとの記録が残っています。

これらの「墓石図」には、海舟が文章を書き添えていたそうですが、その中には“思い付きでこの絵図を描いた。この絵図を墓石の代わりとする”という意味の一文が含まれていました。今回紹介した資料にも同様の一文が記されていることから、この墓石の絵図は海舟が描いた下絵と考えられます。

明治32年1月19日、77歳で亡くなった海舟は洗足池の畔に埋葬されました。



#### 郷土博物館

大田区南馬込五丁目11番13号

☆JR京浜東北線「大森駅」

北口改札山王方面の東急バス4番乗り場で「荏原町駅入口」行に乗り「万福寺前」下車徒歩2分

☆都営地下鉄浅草線「西馬込」東口から徒歩7分

開館時間 9:00 - 17:00

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は月曜開館、翌日休館)

入場料 無料